

# 施策 3-1 水産業の振興

## ◆ 施策のめざす姿

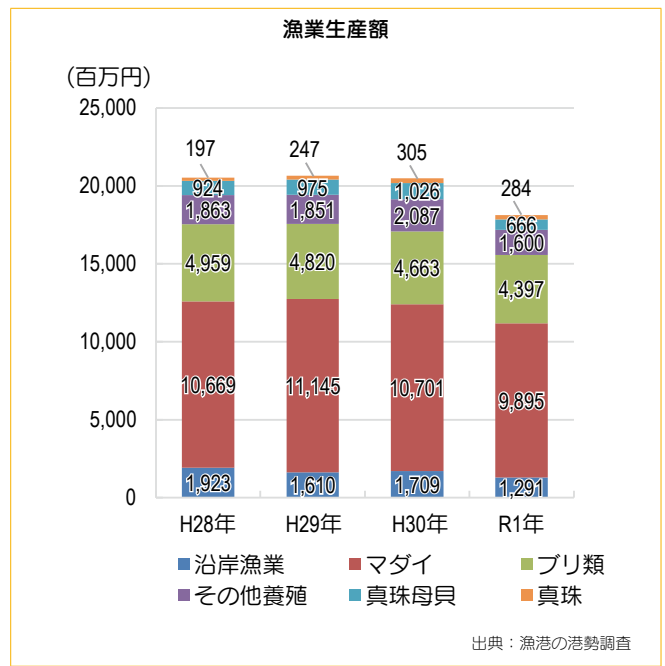
漁業経営の安定化及び持続可能な水産業が推進されています。

## ◆ 施策の成果指標

| 指標名    | 基準値           | 目標値           | 指標の方向性   |
|--------|---------------|---------------|--|
| 漁業生産額  | 18,133<br>百万円 | 21,000<br>百万円 | 水産業全般でSDGsの取組を推進することにより、長期的には生産額の向上が見込まれます。          |
| 漁業経営体数 | 490経営体        | 500経営体        | 漁業者の働きやすい環境を整備し、またICT等を活用したスマート水産業を進め、経営体数の増加を目指します。 |

## ◆ 施策の基本方針（課題と方向性）

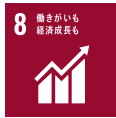
- 魚価低迷が続き、餌代や燃油価格の高騰により漁家経営は苦しい状態が続いています。また、少子高齢化と後継者不足も相まって、漁業者の減少が止まらず、漁業経営体数と登録漁船数はともに減少しています。本町の水産業を取り巻く環境はますます厳しくなっており、産学官連携による水産業支援体制を強化し、環境に配慮した持続可能な漁業を推進していきます。
- 現在の漁港施設等は高度経済成長期に整備されたものが多く、老朽化が進行しています。これらの施設機能を継続的に発揮していく為、強靱な施設として更新及び強化を図り、漁業生産の効率性の向上や波浪時の安全確保などを行っていきます。
- 漁船・養殖漁業の振興策として、水産物の付加価値向上につながる施設等の整備を支援します。また、ぎょしょく教育や豊富な水産物を活かし大規模消費地での「愛南町」の知名度向上を図りながら販売力を強化し、また6次産業化と新規就業者支援を推進します。
- 新養殖品種の開発、漁業に関する情報や作業にICT、IoT技術の導入支援を行い生産効率の向上を図ります。また、魚病や赤潮による被害低減、耐性アコヤ貝の開発等の試験研究を推進していきます。



## ◆ 施策の個別計画（又は関連計画）

愛南町水産・食料基地構想

序論  
基本構想  
基本計画  
政策1  
政策2  
政策3  
政策4  
政策5  
まち・ひと・しごと創生総合戦略  
国土強靱化計画  
資料編



◆ 基本事業の構成

| 基本事業名とめざす姿   | 指標名                           | 基準値       | 目標値       | 指標の方向性                           |
|--|-------------------------------|-----------|-----------|----------------------------------|
| <b>1</b><br><b>水産基盤の整備</b><br>漁港機能の充実を図り、漁業活動の安全性と稼働率が高まっています。高潮、津波等による被害から背後地の生命や財産を防護します。災害に強い強靱な施設が維持をされています。     | <b>強靱</b><br>漁港・海岸施設の漁船最多利用率  | 103.9%    | 90.0%     | 適切な施設整備を行い、利用率90%以上の維持を目標とします。   |
|  | 漁港・海岸施設の施設災害発生件数              | 0件        | 0件        | 適切な維持管理や施設整備を行い、災害発生件数0を目標とします。  |
| <b>2</b><br><b>漁業の安定経営</b><br>新技術の確立及び支援体制の整備によって、付加価値の高い水産物を安定的に供給できるようになります。良好な漁場環境を保全し、安全安心な水産物の振興を目指します。         | 地区内漁業種別水揚げ金額                  | 2,637百万円  | 2,800百万円  | 近年の水揚げ金額から目標値を設定しています。           |
|  | アコヤ貝（真珠母貝）種苗生産量               | 1,841万個   | 2,060万個   | 近年の種苗生産量から目標値を設定しています。           |
|  | 水産用水基準の不適合件数                  | 0件        | 0件        | 現状の基準を維持して、不適合がないことを目指します。       |
| <b>3</b><br><b>ぎょしょく教育と消費拡大</b><br>ぎょしょく教育の普及推進活動によって、魚食と健康に関する理解が進み、魚の消費が拡大します。ぎょしょく教育を通じて、地産地消を推進し、地元水産物の消費が拡大します。 | <b>戦略</b><br>ぎょしょく教育に参加した延べ人数 | 5,251人    | 5,000人    | 近年の参加人数から目標値を設定しています。            |
|  | 公共施設の給食における地元水産物の利用額          | 22,493千円  | 30,000千円  | 近年の利用額から目標値を設定しています。             |
|  | 漁協直販増加額                       | 501,998千円 | 550,000千円 | 近年の直販増加額から目標値を設定しています。           |
| <b>4</b><br><b>生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化</b><br>関係者が連携を図ることにより、地域の抱える水産課題を解決します。  | <b>戦略</b><br>共同開発研究をした延べ件数    | 14件       | 15件       | 近年の共同開発研究数から目標値を設定しています。         |
|  | 市場で付加価値が高い水産物数                | 4種        | 5種        | 産学官連携により成果向上を目指します。              |
| <b>5</b><br><b>漁業後継者の育成</b><br>地域漁業を担う漁業者を育成します。   | 町内の漁業従事者の割合                   | 8.1%      | 8.2%      | 学生等若い世代へ水産業への理解を深め、就業者の増加を目指します。 |
| <b>6</b><br><b>持続可能な漁業の推進</b><br>カーボンニュートラル漁業を目指し、環境負荷の軽減と資源の持続性に配慮した漁業が推進されています。                                    | 水産エコラベル認証に基づく輸出量              | 53.0t     | 63.6t     | 近年の輸出量から目標値を設定しています。             |



養殖真鯛のえさやり



愛南町水産業イメージ図

用語解説

|            |   |
|------------|---|
| ぎょしょく教育    | 本町が行う教育プログラムで「魚触」「魚色」「魚職」「魚殖」「魚師」「魚食」「魚植」の7つの「ぎょしょく」をコンセプトとし、水産物に対する正しい知識や地元水産業に対する理解の拡大を図り推進しています。 |
| IoT        | Internet of Thingsの略称で、インターネットに様々なものを接続することをいいます。   |
| 水産エコラベル認証  | 水産資源や生態系などの環境にやさしい方法で行われている漁業や養殖業を認証する仕組みをいいます。   |
| カーボンニュートラル | 温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることをいいます。  |

序  
論

基本  
構想

基本  
計画

政策  
1

政策  
2

政策  
3

政策  
4

政策  
5

まち  
ひと  
しごと  
創生  
総合  
戦略

地  
域  
土  
強  
計  
劃  
画  
化

資  
料  
編

## 施策 3-2 農林業の振興

### ◆ 施策のめざす姿

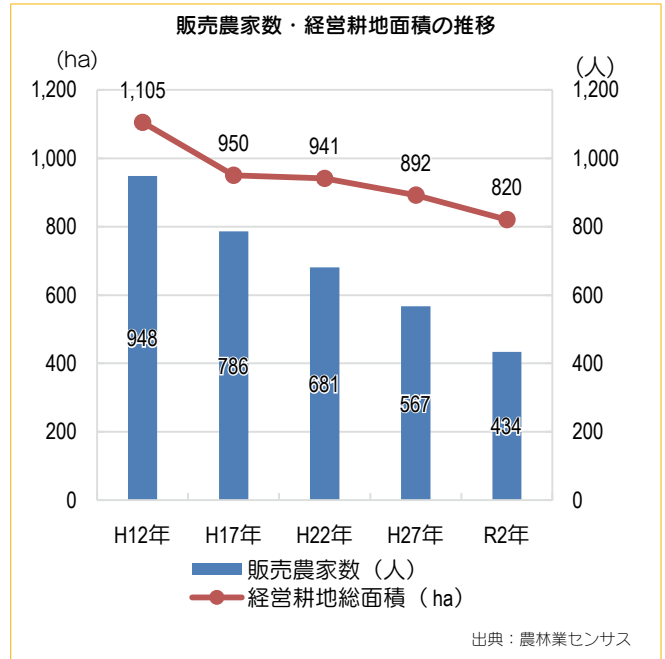
自然環境に配慮しつつ、地域特性を活かした安全安心な農林産物の安定生産及び販売が行われ、付加価値が向上することにより所得が向上します。

### ◆ 施策の成果指標

| 指標名     | 基準値                 | 目標値                  | 指標の方向性   |
|---------|---------------------|----------------------|--|
| 農業産出額   | 233<br>千万円          | 233<br>千万円           | 生産年齢人口が減る背景において、農業算出額の維持を図るため、担い手の育成・確保、経営安定に資する生産支援及び農作物の高付加価値化に取り組みます。 |
| 林業素材生産量 | 7,407m <sup>3</sup> | 10,000m <sup>3</sup> | 生産性の高い林業の確立を目指し、作業システムの最適化や作業改善等を図り、林業事業者と連携して、高い生産性を実現できるよう取り組みます。      |
| 耕作面積    | 1,383ha             | 1,383ha              | 担い手の高齢化やリタイアが進む背景において、耕作面積の維持を図るため、農地等の利用の最適化に取り組みます。                    |

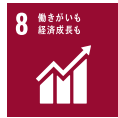
### ◆ 施策の基本方針（課題と方向性）

- 農林業を取り巻く環境は、農林産物価格の低迷、資材高騰、鳥獣被害等により大変厳しい状況が続いており、担い手の確保や農地の維持管理が大きな課題となっています。
- 農林業の維持発展のため、農地利用の最適化を推進し、意欲ある多様な担い手の確保、安全安心な生産体制を構築します。併せて、地域の特性を活かした農畜産物の産地化や高付加価値化を推進し、農林業者の所得向上に取り組んでいきます。
- 地域農業を担う中心経営体が、農地の継承や農村環境の保全、整備に自ら向き合い、将来の地域農業の維持発展に能動的に取り組めるよう推進していきます。
- 作業負担の軽減や安全性向上のため、愛南町農村振興基本計画に基づき、効果を図りながら農地整備に取り組み、農業農村の環境整備による総合的な支援を推進します。
- 森林の適切な整備や保全を図るとともに、新たな森林管理システムを推進し、事業量と労働力の安定確保による素材生産量の向上に取り組んでいきます。



### ◆ 施策の個別計画（又は関連計画）

愛南柑橘営農環境改革プラン、水田収益力強化ビジョン（R2～R5）



◆ 基本事業の構成

| 基本事業名とめざす姿   | 指標名                        | 基準値     | 目標値     | 指標の方向性                              |
|--|----------------------------|---------|---------|-------------------------------------|
| <b>1</b> <b>戦略</b><br><b>担い手の育成と確保</b><br>県、JA等と連携し、募集、研修、経営定着、経営発展、経営継承まで、一貫した支援が受けられ、意欲のある経営体や集落営農組織などの多様な担い手が確保・育成されています。 | 新規就農者数<br>(基本計画期間累計)       | —       | 12人     | 近年の動向から新たな担い手3名/年の確保を目指します。         |
|  | 認定農業者数                     | 158人    | 158人    | 近年の認定数の動向から現状維持を目指します。              |
|  | 農地所有適格法人数                  | 14経営体   | 18経営体   | 近年の法人数の動向から1経営体/年の増加を目指します。         |
| <b>2</b> <b>戦略</b><br><b>農地の継承</b><br>持続的な農業推進のために、農地が継承されています。  | 新規利用権設定数<br>(基本計画期間累計)     | —       | 296件    | 近年の利用権の動向から新規設定数の確保を目指します。          |
|  | 農地利用集積面積                   | 300ha   | 300ha   | 近年の動向から農地利用集積面積の現状維持を目指します。         |
| <b>3</b> <b>戦略</b><br><b>経営安定と産地化の推進</b><br>経営安定のための各種支援が活用され、産地化が進み、農業経営が継続されています。  | 産地化、高付加価値化を進める農産物(野菜)の作付面積 | 36.3ha  | 40.0ha  | 近年の動向から作付面積の維持・向上を目指します。            |
|  | 産地化、高付加価値化を進める農産物(柑橘)の作付面積 | 449.7ha | 450.0ha | 近年の動向から作付面積の維持・向上を目指します。            |
|  | 水田の有効活用面積                  | 24.4ha  | 28.0ha  | 水田における高収益作物の作付拡大を目指します。             |
|  | セーフティネット加入経営数              | 422件    | 422件    | 近年の認定農業者数の動向から現状維持を目指します。           |
| <b>4</b> <b>強靱</b><br><b>農地の保全・農村環境の整備</b><br>適正な農地管理、鳥獣被害軽減及び生産性が高い農地や農道、水路、防災重点ため池の整備がされています。                              | 鳥獣被害面積                     | 11.97ha | 10.00ha | 近年の動向から鳥獣被害面積の維持・減少を目指します。          |
|  | 農業施設整備完了割合                 | 91.4%   | 100%    | 現状が比較的高い水準にあることから現状維持・向上を目指します。     |
| <b>5</b> <b>強靱</b><br><b>新たな森林管理システムの推進</b><br>森林経営管理制度と森林環境譲与税を両輪とした新たな森林管理システムを推進し、林業事業者の事業量と担い手が安定確保されています。               | 間伐面積                       | 110ha   | 130ha   | 近年の動向から間伐面積の維持・向上を目指します。            |
|  | 林業従業者数                     | 28人     | 35人     | 新規従事者の確保等により、維持・向上を目指します。           |
| <b>6</b><br><b>農業地域資源を活用した農作物の高付加価値化</b><br>河内晩柑をはじめとする愛南産農産物やグリーン・ツーリズムの取組等、魅力ある愛南町の情報を発信し、愛南のファンが増加しています。                  | 愛南ゴールド等販売促進部会における河内晩柑等の販売額 | 120万円   | 300万円   | 首都圏等への販促活動により、高水準での売上額維持を目指します。     |
|  | 河内晩柑の果汁及び果皮の販売数量(委託搾汁分)    | 取得予定    | —       | 二次加工メーカー等、果汁・果皮の販路開拓により、販路獲得を目指します。 |
|  | グリーン・ツーリズム等の体験提供イベント参加者数   | 130人    | 143人    | 町の資源を活用した体験を新たに創出し、参加者数の増加を目指します。   |
|  | ホームページやSNSを活用した情報発信数       | 74件     | 96件     | 各媒体の発信数を増加し、各4回/月の情報発信を目指します。       |

序  
論

基本  
構  
想

基本  
計  
画

政  
策  
1

政  
策  
2

政  
策  
3

政  
策  
4

政  
策  
5

まち・ひと・しごと  
創生総合戦略

地  
域  
土  
強  
計  
画  
画  
化

資  
料  
編

施策  
3-3 商工業の振興

◆ 施策のめざす姿

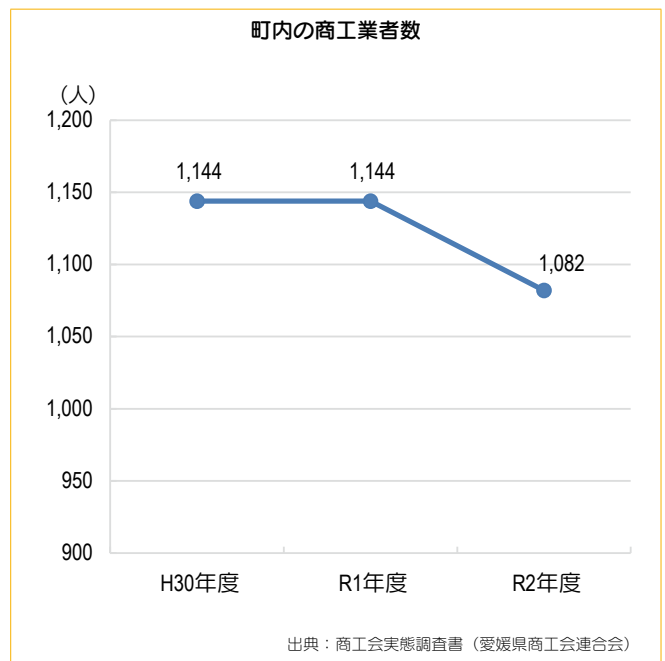
商工業者の生産性や販売力が強化されることにより、事業活動が継続され、地域が活性化しています。

◆ 施策の成果指標

| 指標名      | 基準値     | 目標値     | 指標の方向性   |
|----------|---------|---------|--|
| 町内の商工業者数 | 1,144業者 | 1,000業者 | 人口減少等の要因による町内の商工業者数の減少が、少しでも抑制されるように各種施策に取り組みます。 |

◆ 施策の基本方針（課題と方向性）

- 本町の商工業者数は、近年減少傾向となっています。商工業者の8割以上が従業員数5人以下等の小規模事業者であり、事業主の高齢化や後継者不足等が廃業につながりやすいことが主な要因となっています。新たなビジネスの創業や事業承継による事業の継続に取り組む事業者を支援することにより、商工業者数の維持に取り組みます。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、これまでの事業者への支援のあり方を見直しました。具体的には、令和3（2021）年6月に制定した「愛南町中小企業・小規模企業振興基本条例」を根拠として中小企業者等支援事業を創設し、生産性の向上や経営の安定化に取り組む事業者を支援します。
- 本町の雇用や税収を確保するため、企業誘致施策や既存の誘致企業の留置施策により各種優遇措置を設けて企業誘致・留置を積極的に推進します。
- 愛南町商工会等の関係機関と連携して商工業の振興を推進することにより、本町経済の活性化及び町民の生活の向上を図ります。



序  
論

基本  
構  
想

基本  
計  
画

政  
策  
1

政  
策  
2

政  
策  
3

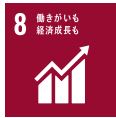
政  
策  
4

政  
策  
5

まち・ひと・しごと  
創生  
総合  
戦略

地  
域  
計  
画  
画  
化

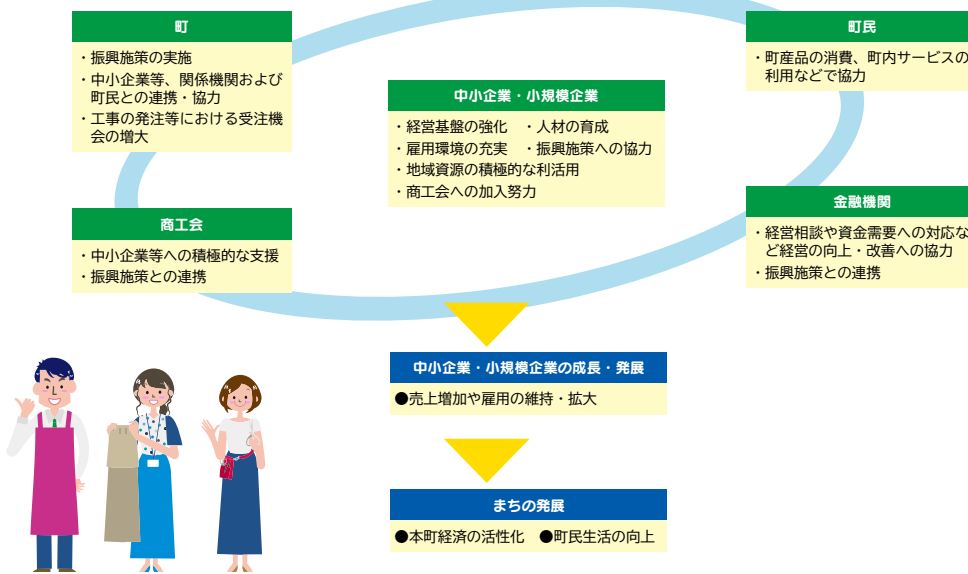
資  
料  
編



◆ 基本事業の構成

| 基本事業名とめざす姿   | 指標名                                      | 基準値   | 目標値   | 指標の方向性                    |
|--|--|-------|-------|---------------------------|
| <b>1</b><br><b>経営面の支援強化</b><br>中小企業者等の経営力が向上し、その経営が安定しています。                          | <b>戦略</b><br>黒字化している事業所（町民税の法人税割課税事業所）割合 | 35.7% | 38.0% | 黒字化している事業所割合の増加を図ります。     |
|  | 町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業者数（基本計画期間累計）   | 2業者   | 60業者  | 過去の同種の補助金実績から目標値を設定しています。 |
| <b>2</b><br><b>創業・事業承継への支援</b><br>地域資源を活かした起業が行われるとともに、事業承継により事業活動が継続されています。         | <b>戦略</b><br>新規に法人化した事業者数（基本計画期間累計）      | 11業者  | 15業者  | 個人事業主から法人化する事業者の増加を図ります。  |
|  | <b>戦略</b><br>企業の誘致・留置件数                  | 5件    | 6件    | 新たな1件の企業立地を目指します。         |
| <b>3</b><br><b>企業誘致・留置の推進</b><br>町内に企業が進出するとともに、進出した企業が留まっていることで、雇用が拡大し、地域が活性化しています。 | <b>戦略</b><br>企業の誘致・留置件数                  | 5件    | 6件    | 新たな1件の企業立地を目指します。         |

「愛南町中小企業・小規模企業振興基本条例」の全体像



「愛南町中小企業・小規模企業振興基本条例」の全体像



YouTube 活用セミナー

用語解説

企業留置

既に地域に立地する企業に対して、引き続きその地域で操業してもらうように働きかけることをいいます。

## 施策 3-4 観光・物産の振興

### ◆ 施策のめざす姿

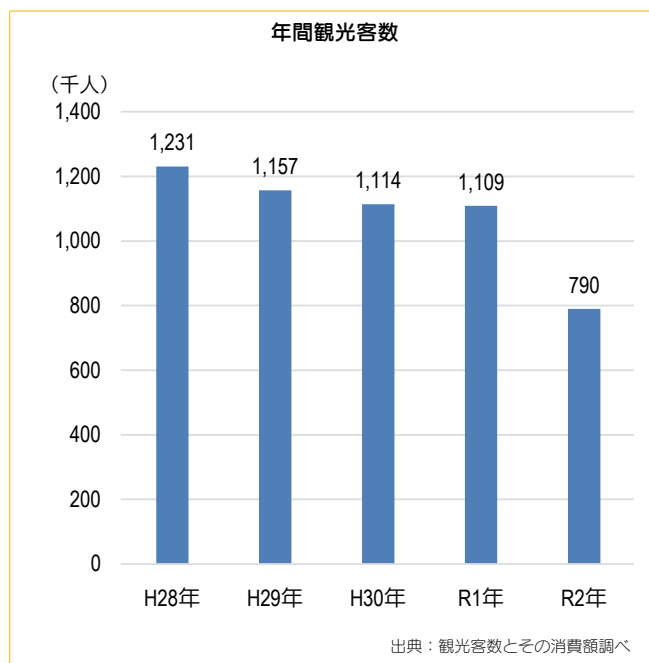
地域の魅力を理解し、愛南町を好きな方が増加するとともに、多くの観光客が訪れます。

### ◆ 施策の成果指標

| 指標名          | 基準値      | 目標値        | 指標の方向性                                   |
|--------------|----------|------------|--|
| 年間観光客数（入込客数） | 790,032人 | 1,500,000人 | 地域の魅力を理解し、愛南町を好きな方が増加するとともに、多くの観光客が訪れます。 |

### ◆ 施策の基本方針（課題と方向性）

- 本町の年間観光客数は、平成28（2016）年度は1,231千人ありましたが、令和2（2020）年度には新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により790千人と約36%減少しています。今後は、観光に携わる町内事業者との連携を強化し、民間活力を取り入れた効果的な観光イベントの実施など、観光資源のPRや受け入れ態勢の充実を図り、町の魅力が十分に発信できる環境づくりに取り組めます。
- 近年、観光を取り巻く状況は、国内観光等のマイクロツーリズムを主体として、新たな観光需要に対応することが求められています。町観光協会の機能を充実・強化することにより、ニューノーマルな視点での観光プログラムの造成、情報発信力や広域連携による誘客機能の向上を図り、まちづくりの情報発信拠点となるよう取り組んでいきます。
- 本町の魅力を広く発信し、町内に点在する地域資源を活用しながら、観光・物産振興に対する町民の理解を深め、町民が地域への誇りと愛着を持つことができる、活力に満ちた地域社会の実現を目指します。また、ふるさと納税や統一ブランディングロゴマーク「いろこいあいなん」の活用により、特産品等のブランド力の向上を図ります。



### ◆ 施策の個別計画（又は関連計画）

愛南町営業戦略推進計画（R3～R7）

◆ 基本事業の構成

| 基本事業名とめざす姿  | 指標名   | 基準値     | 目標値      | 指標の方向性                                      |
|---|---|---------|----------|---|
| <b>1</b><br><b>地域資源の有効活用</b><br>地域の資源（特産品や観光スポット）を活かしたイベントやふるさと納税事業の実施により、誘客の促進と特産品が全国に認知されます。                        | <b>戦略</b><br>町内で観光客誘致のため開催される各種イベントにおける参加者数 | 11,286人 | 30,000人  | 観光・特産品振興のためのイベントを実施し、誘客に取り組みます。             |
|   | 町が実施又は支援する観光・物産振興イベントの開催回数                  | 2回      | 25回      | 観光・特産品振興のためのイベントを実施し、誘客を図ります。               |
|   | ふるさと納税の寄附件数                                 | 16,336件 | 100,000件 | 毎年、前年比約20%ずつの増加を目指します。                      |
|   | ふるさと納税の返礼品登録数                               | 320品    | 700品     | 返礼品数の増加が寄附の増加につながることから、より一層の返礼品の充実を目指します。   |
| <b>2</b><br><b>観光PRの推進</b><br>具体的な効果のあるブランド、PRを充実させ、観光協会、旅行会社等と連携することにより、観光客が望む内容を理解し、多くの方々に本町の魅力を知ってもらうための情報発信を行います。 | <b>戦略</b><br>町ホームページ内の観光ページへのアクセス件数         | 20,846件 | 30,000件  | HPの更新を充実し、観光情報の発信を強化することにより、観光客の誘客に取り組みます。  |
|   | 町及び観光協会の公式SNSフォロワー数及び登録者数                   | 1,167人  | 3,000人   | 情報発信力の強化のため、公式SNSフォロワー数の増加を図ります。            |
|   | 統一ブランディングロゴマーク「いろこいあいなん」の利用登録件数（基本計画期間累計）   | 11件     | 22件      | 町内事業者等への利用推進を図り、利用登録件数を増加させます。              |
|   | 新聞、テレビ、雑誌等及びSNS等へのリリース・情報発信件数               | 26件     | 30件      | マスコミ等へのPRとして、観光情報等のリリース・情報発信件数の増加を図ります。     |
| <b>3</b><br><b>観光資源の充実</b><br>観光施設の維持管理やリニューアル、体験型観光等のメニュー・ルート作りをして、魅力の向上を図り、多くの方が訪れます。                               | <b>強靱</b><br>観光施設の利用支障件数（修繕件数）              | 25件     | 20件      | 観光施設の老朽化が進んでおり、適正に維持管理することで利用者の安全確保に取り組みます。 |
|   | 観光資源を活用した体験メニュー数（基本計画期間累計）                  | 2件      | 10件      | 町と観光協会が連携して、観光資源を活用した体験メニューの充実に取り組みます。      |



愛南町統一ブランディングロゴマーク



エミフル MASAKI での販売促進活動

用語解説

|           |   |
|-----------|---|
| SNS       | ソーシャルネットワークサービスの略で、登録した利用者だけが参加できるコミュニティ型のウェブサイトのことで、ツイッター、フェイスブック、LINEなどがあります。 |
| フォロワー     | SNSにおいて、投稿内容に興味を持ち、内容が見られるように登録した人のことです。  |
| マイクロツーリズム | 小規模なエリア（県内など）で行われる限定的な旅行で、自宅から1時間から2時間圏内の地元、または近隣への宿泊観光や日帰り観光のことをいいます。          |
| ニューノーマル   | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて変化した、新しい生活様式や働き方を指します。                                       |



# 施策 3-5 雇用・人材確保の推進

## ◆ 施策のめざす姿

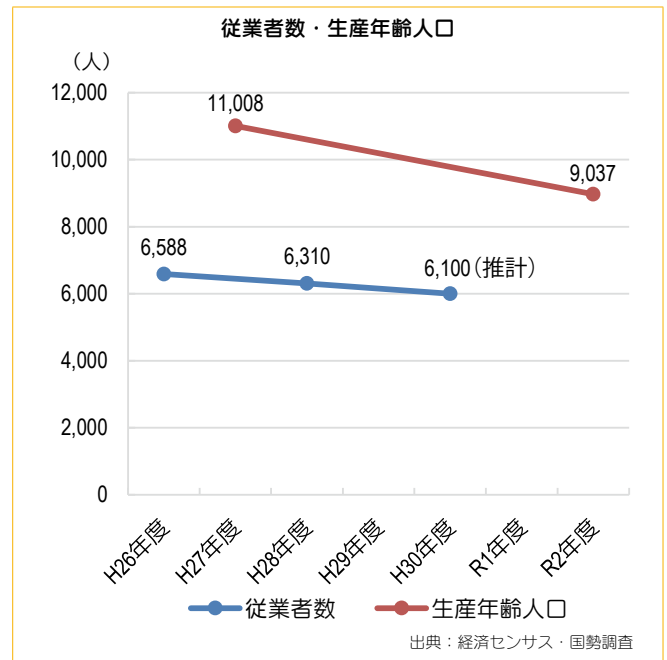
雇用及び労働人材が確保されることにより、地域産業が持続し、町民が安心して働き、生活できます。

## ◆ 施策の成果指標

| 指標名     | 基準値    | 目標値    | 指標の方向性  |
|---------|--------|--------|---|
| 町内の従業者数 | 6,310人 | 5,500人 | 人口減少等の要因による町内の従業者数の減少が、少しでも抑制されるように各種施策に取り組みます。 |
| 有効求人倍率  | 3.54倍  | 3.00倍  | 雇用関係の成立の増加及び事業者の労働人材不足の解消を目指し、各種施策に取り組みます。      |

## ◆ 施策の基本方針（課題と方向性）

- 人口減少や少子高齢化に伴って生産年齢人口が減少し、町内の従業者数も減少が続いています。このような状況の中、求人募集事業者と求職者のニーズが一致しない、いわゆる雇用のミスマッチが起こっており、愛南町就職支援センターにおける有効求人倍率も平成30（2018）年度からの3か年度平均で3.44倍と高い水準になっています。
- 雇用対策では、愛南町就職支援センターにおいて、雇用のミスマッチを解消すべく関係機関と連携して求職者に対し就職相談や職業紹介を行い、引き続き雇用関係の成立に向けた支援に取り組んでいきます。
- 併せて、労働人材の確保を推進し、町外からも積極的に人材を募集するとともに、雇用の確保にもつなげるため事業承継を支援します。
- 雇用関係の成立や企業誘致・留置施策による雇用の創出・維持、労働人材の確保など、総合的に取り組んでいくことにより、本町の地域産業が持続し、町民が安心して働き、生活することができる労働環境づくりを推進していきます。



序論  
基本構想  
基本計画  
政策1  
政策2  
政策3  
政策4  
政策5  
まち・ひと・しごと創生総合戦略  
国土強靱化  
資料編

◆ 基本事業の構成

| 基本事業名とめざす姿   | 指標名  | 基準値   | 目標値   | 指標の方向性                        |
|--|--|-------|-------|-------------------------------|
| <b>1</b><br><b>雇用の促進</b><br>求職者が雇用相談や各種研修などを活用することにより、雇用が促進されます。   | <b>戦略</b><br>求職者の就職割合                                    | 53.5% | 58.0% | 過去の平均就職割合約55%から目標値を設定しています。   |
|  | 誘致・留置した企業の町内雇用者数   | 238人  | 250人  | 新たな企業立地による雇用者数の増加を目指します。      |
| <b>2</b><br><b>労働人材の確保</b><br>事業承継や町内外からの就業・起業が促進され、人材不足が解消されています。 | <b>戦略</b><br>町と関係機関が連携・支援して、事業承継した事業者数及び新規参入者数（基本計画期間累計） | 15業者  | 24業者  | 過去の新規・事業承継就業者数から目標値を設定しています。  |
|  | 町外向けの仕事紹介への取組数（短期、定住）                                    | 0件    | 4件    | 町外者に向けて求人情報を提供し、労働人材の確保を図ります。 |



愛南町就職支援センター



就職支援セミナー

用語解説

有効求人倍率

求人数を求職者数で除したもので、求職者1人に対する求人数の比率です。